

外部評価 様式

令和6年度 城東小学校 外部評価 記入用紙	
評価委員：富田正一委員長、清水貞男委員、江口雅子委員、流川貴史委員、 小村眞理委員、劔持隆委員、喜多高廣委員 報告書作成者：喜多高廣委員	
評価時期	令和7年2月
1 重点目標の評価 重点目標1「確かな学力の定着と伸長」について ・校外学習が他校より多いこと、それが理数パイロット校としての取組の一つだとなつていない親も多いのではないか。様々な取組を保護者に分かりやすく伝えていく。 ・学校の取組が、保護者に十分伝わっていない一因には、コミュニケーション不足もある。情報発信で解決できるのではないか。ホームページなどいろいろな手段で知らせる必要がある。 ・施設や地域を生かし、文化体験をしてほしい。 重点目標2「豊かな心と人間関係の涵養」について ・たてわりはよい取組。児童数が増えても続けてほしい。体育学習発表会等で活用してほしい。 ・学校行事で子どもたちが係活動を行う進め方などを期待したい。 ・学校評価の回答で「相談できる先生がいます」と答えていない子が4分の1というところは、先生も奮起して解決してほしい。 ・社会環境が変わってきた。学校でできることと、家庭でできることを考えていくことが大切である。 重点目標3「健康でたくましい心と体づくり」について ・電車でのマナー、公共の場でのコミュニケーションは家庭環境も関係する。学校の方針と家庭が同じ方向で、小さいときから人間関係の中で育てていくことが大切である。 ・地域の行事には、子どもも保護者も楽しく参加している。これから児童数が増えるが、関わる大人が子どもを見守り、注意できるとよい。 2 今後の改善に向けた意見 ・学校の取組を保護者に伝えていくために、連絡配信アプリだけでなく様々な手段で知らせる必要がある。 3 その他の意見 ・学校への無理な要求が多くなるのは問題である。 ・学校評価の回答率が多くなるための工夫が必要である。	

* 各学校のホームページで公表していきます。